ＹＩＡ 会員だより　2020 年 9 月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第 189 号　ホームページ URL　https://yia2020.net/

【9 月以降の活動予定他】
秋のバス旅行：11 月開催を予定していましたが、コロナ蔓延のため一旦延期となりました。
国際理解講座：9 月～11 月に規模を縮小しての開催を予定しています。

新型コロナ蔓延で YIA の活動も自粛を余儀なくされています。皆様いかがお過ごしでしょうか？
今月号は、「コロナ下での過ごし方」とのテーマで会員の皆さん、ALTのマゴーシャさんから投稿を頂きました。

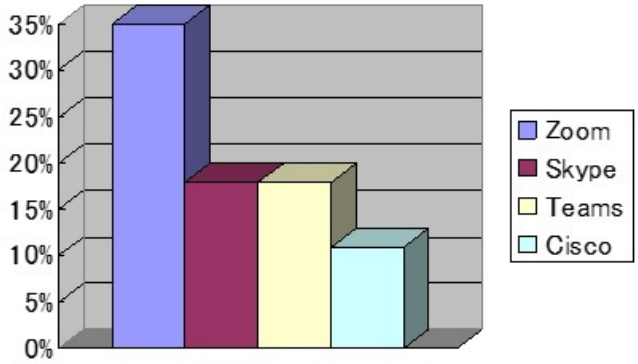
◆コロナで変わったこと、判ったこと　　田村　実

今冬に突然襲って来て、瞬く間に、世界でパンデミックとなり、未だ拡大中のコロナ Covid-19、皆さんへの影響はいかがですか？業種により影響の深刻さは異なりますが、大きな変革が起きつつあり、我々も変わって行かねばなりませんね。

今回のコロナ禍で、様々なことが判ってきました。①日本のデジタル化の遅れ、②環境汚染の深刻化。インドのニューデリーでは、ヒマラヤがクッキリ見えた。③中国の存在感。感染のコントロール、コロナテックのビジネスも。PCR 検査は、都市全体、例えば、大連 600 万人を一斉に実施するパワー。

私の最大の変化は、ズームによるオンラインセミナーの実施です。我々の倫理法人会では、全国約 700 の会で、毎週朝 1 回モーニングセミナーを実施していますが、2 月の最後の週からすべて中止に。　打開策をズームの活用に求めた。初めてのため、繋がらない、音声が遅延、画像が乱れる、ハウリングがスゴイ等色々。改善を続けて、慣れてくると便利さは抜群。　安全、移動が不要、会場費はいらない、全国どこのセミナーにもスマホで簡単に参加できる。結果として、毎週、毎日、全国の会に参加し、様々な講話が聞けるとともに、全国のネットワーク作りに。コロナが無ければ、発生しなかったこと。

ズームは、米国の会社、この春には、利用者が 3 億人を超え、株価は 5 倍に。社長は、中国出身だが、この 10 年内に、オンライン会議は、リアルを超えると。



上記は、ウエブ会議の国内シェアで、国内企業はない。ただ、例えばシャープが、ズームより安価なシステムの提供も始めて、今後に期待。

今回、日本が判ったことは、デジタル化の決定的な遅れ。判って、本当に良かったと思う。

◆今私のできること　　長井　和秀

新型コロナウイルス感染が私の住居地にも近づきつつあり、“3 密、ステイホーム、自粛”が叫ばれ、これから先が予見できない厳しい日々が続いています。このような中でコロナが終息した後のことを書きたかったのですが、コロナに直面し、対応されている方々のことを考えると簡単には書けないので、私が今、取り組んでいることを書きます。

これからは、発熱で病院へ行くことも難しく、健康体でありたいと思います。私は趣味としてジョギングに取り組んでいます。特に今

年は健康に保つため、毎日１時間走ることを心掛けています。

次に人のために何かできないかと考えると昨年よりほんの少しですが、家族のために作った野菜を京阪神のスーパーマーケットへ送る活動を行っています。見映えは悪いのですが無消毒の野菜を、翌日販売のため新鮮な内に購入して頂けます。自分で作った野菜が知らない方の食卓に載っていることに人とのつながり“交流”を感じます。今年はステイホームで、かつ猛暑であり、野菜が不足しているおり、他人様に喜んで頂いていると思いつつ行っています。

◆フランス語学習の楽しみ　　三宅　ふさ代

大学の第二外国語でフランス語をとり、その後アンスティチュ・フランセ東京に 5 年間通いました。この頃「星の王子さま」、「悪童日記」などを読みました。現在、NHK の「まいにちフランス語」で勉強しています。基礎編 3 日と応用編 2 日の密度の濃い 15 分です。

現在の応用編の講師、清岡智比古教授とパートナーのフロランスは、内容と展開において異彩を放っています。レッスンは数字の聞き取り 2 問から。100－20＝80，500－150＝350 / 25×2＝50，9×8＝72 / 12：37，2：11/など。日本人の弱点を熟知されています。

パリに住む人々がテーマです。セネガル出身パリ育ちの女性高級官僚、反ユダヤの台頭に怯えるユダヤ系住人、ルーマニア人歯科医、中国系移民二世など。本文の解説後、重要表現の口頭テストがあります。「僕たちは一目で恋に落ちた」「インドと言えばカレー」「高齢者施設」など。最後に、フロランスが各テーマの歴史的、社会的背景を説明してくれます。

◆徳島に住む外国人から見たコロナ

マウゴジャータ　シコルスキ

At the end of January, my friend and I started to make plans to travel for Golden Week. However, just a few weeks later in early February, we heard the news about the Diamond Princess Cruise Ship having passengers infected with a new disease called the coronavirus. Hearing that quite a few of the infected passengers were in critical conditions gave me an ominous feeling. As the virus began to spread, I no longer thought it was a good idea to go through with our plans for Golden Week. I had also made plans for my friends to come visit me from the U.S., and those plans had to be cancelled as well.

At first, my feelings were that of uncertainty and a bit of fear, not knowing just how bad this virus is and whether getting it meant a death sentence. Looking at countries outside of Japan such as Italy as COVID-19 began to spread, it definitely seemed terrible. Now, I do not feel as much fear because most of the cases are mild and people recover; however, as it spreads even more, I do worry about my family and I am more cautious when going outside and interacting with people. I hope that I will be able to visit my family for the holidays and that my friends will be able to visit me here in Japan, but as of right now, it does not seem possible. It is frustrating, but I think we all just need to be patient.

◆日本語教室（山川教室）に参加して　　平田　仁子

私の家の近くには小さな工場がいくつかあって、そこで中国人、ベトナム人等が働いています。

道で会うと彼女たちは「こんにちは」と笑顔であいさつしてくれるのです。簡単な会話はできますが、まだまだ日本語を勉強中だと言っていました。この人たちが母国へ帰るまでにもっと日本語で話ができるようになるといいのにな。そのお手伝いが少しできれば、というちょっとした興味が日本語教室へ足を運ぶきっかけになりました。

日本とはまったく生活習慣も言語も違う外国人が日本語を習得していくのは大変ですが、彼女たちはとても熱心に勉強しています。私自身も授業の中で日本の生活習慣や文化を再認識することがたくさんあります。

また、季節に合った行事や催し物を一緒に楽しみながらお互いに交流する機会も企画しています。

皆さんも気軽に一度参加してみてはどうでしょう。きっと新しい発見があるはずです。